



中学生の保護者の皆様へ

中学校版

Let's study

～北区の子ども 家庭学習のすすめ～

「中学校版 Let's study ～北区の子ども 家庭学習のすすめ～」は、家庭での学習習慣づくりのために保護者がどのように関わるとよいかをまとめたものです。また、家庭で取り組める学習内容や学習時間のめやすのほか、家庭で大切にしたいポイント等をまとめています。

家庭での学習習慣の形成のために役立てていただき、子どもへの学習支援の参考としてご活用いただければ幸いです。

※ 義務教育学校（後期課程7学年～9学年）については以下の内容を読み替えるものとします。



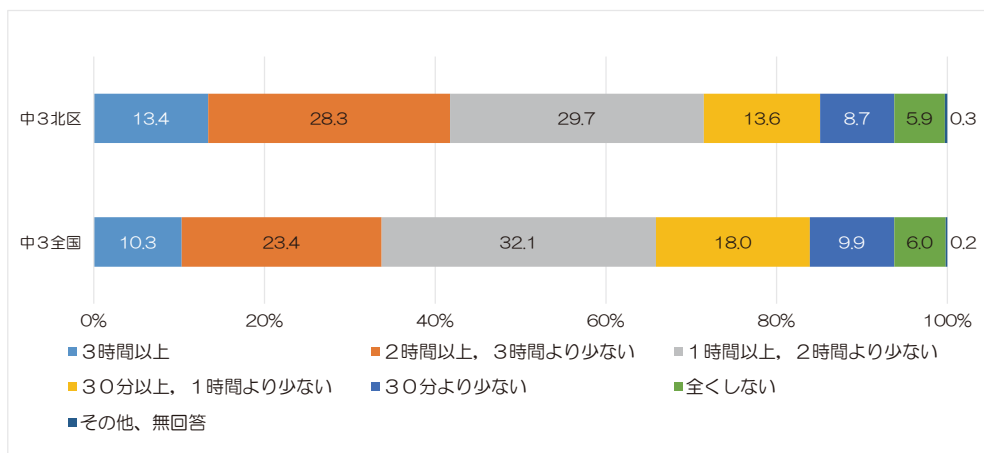
令和6年3月

北区教育委員会

北区立中学校3年生の家庭学習の状況

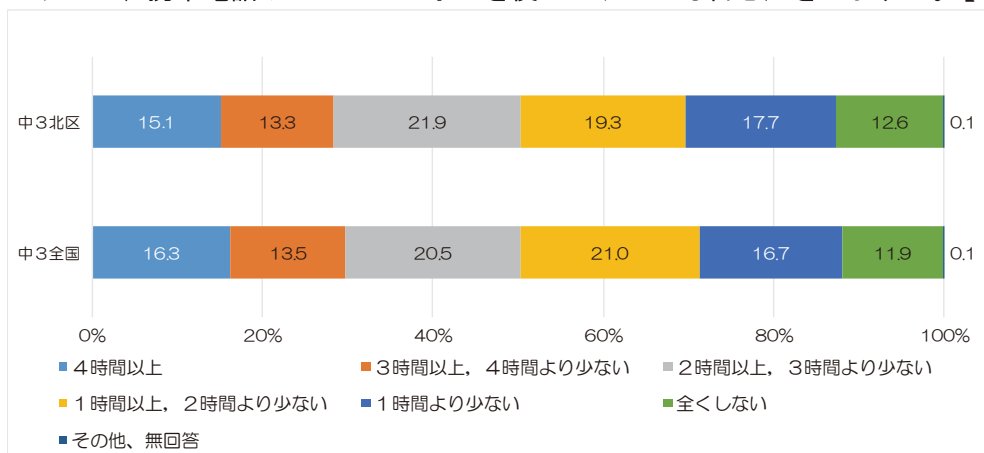
全国学力・学習状況調査の結果より

■学校の授業時間以外に、普段（月～金曜日）、一日当たりどれくらいの時間勉強しますか。【令和5年度】



平日、学校の授業時間以外で、勉強に取り組んでいる北区の生徒は、全国に比べて多くなっています。

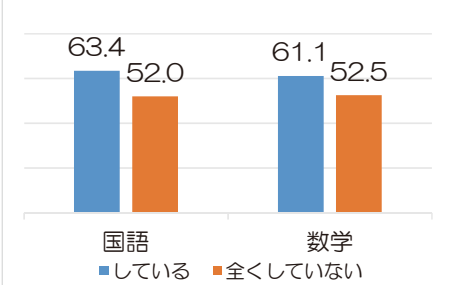
■普段（月～金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲーム（コンピュータゲーム、携帯型のゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームも含む）をしますか。【令和4年調査結果】



一方、平日テレビゲーム等をしている北区の生徒は、全国に比べて多くなっています。

■家族とのコミュニケーションと平均正答率との関係

家の人（兄弟姉妹を除く）と学校での出来事について話をしますか。【令和元年度結果】



家で学校のことを話している生徒の方が、平均正答率が高い傾向が見られます。



○進路を考慮し、家庭学習の時間や内容を自ら考えて取り組むようにすることが望まれます。

○家族とのふれ合いは子どもの心の安定と深く関わっています。子どもと共にいる空間と時間を日常の中に取り入れるよう意識しましょう。

中学校

1年生

〈目指したい学習習慣〉

小学校の学習習慣を踏まえ、自分に合った学習習慣

家庭学習時間の目安

1年生 80分



この時期の特徴

中学1年生は、いわゆる「思春期」と言われる時期に本格的に入っていきます。環境の変化もあり、心と体の成長がアンバランスになりがちで、不安や悩みを抱えやすくなります。また、家族に依存したいという気持ちと、家族から自立したいという気持ちが混在しています。

家庭で大切にしたいこと

予習と復習を習慣付け させましょう

事前に自分で調べたり、考えたりして、授業に臨ませましょう。また、学んだ日に、教科書やノート等を使って学習のポイントを整理させましょう。

学校のプリントを 有効に活用させましょう

学校の授業等で使うプリントは、学習のポイントが整理されています。プリントを有効に活用するようアドバイスをしましょう。

振り返ることを 大切にさせましょう

心身ともに、急速に成長する時期です。小さな変化を見逃さず、子どもの成長を認め、実際に伝えるようにしましょう。

【国語】

- はっきりと声に出して教科書を読みましょう。繰り返し読むことが大切です。
- 漢字は何回も書いて、確実に覚えるようにしましょう。
- 読んだ本の感想を「読書ノート」にまとめたり、友達と紹介し合ったりしましょう。

【社会】

- 教科書を繰り返し読んで、内容の理解に努めるようにしましょう。
- 新聞を読むなどして社会の出来事に関心をもちましょう。

【数学】

- その日の授業で取り組んだ計算問題をやり直すことや教科書に載っている文章問題等を繰り返し解き直す取り組みを進めましょう。
- 「きたコン」のドリル教材を使って苦手な問題を解いたり、解説を読んだりして、理解を深めましょう。

生徒への

わんポイント
アドバイス！



【英語】

- 新出語と基本文は声に出しながら繰り返し書きましょう。
- 教科書で習った本文は、音読を試みましょう。

【理科】

- 授業で学習したことをまとめたり整理したりして、ノートづくりを工夫しましょう。
- 図やグラフなどの資料を見て、なぜそうなるのかを考えるようにしましょう。

中学校

2年生

〈目指したい学習習慣〉

予習・復習と計画的な学習習慣

家庭学習時間の目安

2年生 90分



この時期の特徴

時には、大人の言うことに素直になれず、良くも悪くも仲間や友達の影響を強く受けます。そして、他人から見た自分を意識し、比べて落ち込んだり、無理に合わせようとしたりします。いわゆる「思春期」まっただ中です。中学校生活を有意義に過ごすためには、部活動との両立が大切です。

家庭で大切にしたいこと

学習環境を

整えさせましょう

部屋や机の上などは常に整頓するなど、学習への切替がすぐできるように考えさせましょう。学習内容の定着に結び付きます。

学習習慣や方法を

身に付けさせましょう

予習・復習を家庭学習の基本とさせましょう。また、時間を有効に使えるよう、目標をもち、集中して学習できるようにさせましょう。

子どもの成長を

見守りましょう

心身ともに、急速に成長する時期です。学ぶことの意味や学び続けることの大切さについて話す機会をもちましょう。

【国語】

- 漢字などはこまめに復習して覚えましょう。意味の分からない語句は辞書で調べましょう。
- テーマや構成を決めて、文章を書く練習をしましょう。文章を加えたり修正したりすることが簡単にできる「きたコン」のワープロソフトも活用しましょう。
- 視野を広げるためにも、いろいろなジャンルの本を読んでみましょう。

【社会】

- 地図や年表等に親しみ、内容の理解に努めるようにしましょう。

【数学】

- 計算問題では、必ず途中式を書き、確実にこなせるようにしましょう。
- 考え方を図などで表すようにしましょう。

【理科】

- 授業で学習したことをまとめたり整理したりし、ノートづくりを工夫しましょう。

【英語】

- 新出語と基本文は声に出したり書いたりして覚えましょう。
- ラジオの英語講座等を毎日聞いてみましょう。

【定期考査】

- 無理のない学習計画を立てて取り組みましょう。そのためにも早めに取り組むことが大切です。
- 授業でのノートやプリントなどをもとに、自分なりにもう一度まとめてみましょう。



中学校

3年生

〈目指したい学習習慣〉

進路に向けて目標を明確にした学習習慣

家庭学習時間の目安

3年生 100分



この時期の特徴

自らの進学や就職などの進路決定をする時がだんだん近付いてきます。「やらなくては。」と分かっているながら、思うようにならない自分にいらだちを覚え、大人の言うことに素直になれないこともあります。ただ、将来を見据えた目標をもつことができるので、本人のやる気につながります。

家庭で大切にしたいこと

基本的な生活習慣を見直しましょう

基本に立ち戻りましょう。寝起きをする時間、食事をする時間など、時間を意識することで計画性が培われます。

計画的に時間を使いましょう

部活動引退後は、生活リズムを整えましょう。テレビやスマートフォンなどの利用については、時間を決めるようにさせましょう。

挨拶や会話を大切にしましょう

家族の支えが大切になる時期です。食事の時など、会話の時間をできるだけつくり、色々なことを話すようにさせましょう。

【その日の授業を振り返り】

- 詳しく知りたいことや、分かりにくかったことは、教科書や参考書で確かめましょう。
- 国語の漢字や言葉、英語の単語や文法などは、繰り返し書くなど、自分の覚えやすいやり方で覚えましょう。
- 数学の計算や文章題は、同じ問題や似た問題を問題集で解いてみましょう。
- 社会や理科では、大切なことを分かりやすくまとめたノートをつくってみましょう。

生徒への

わんポイント
アドバイズ!



【テストの日をめやすにしたスケジュール管理を】

- 定期テストや教科の小テストなど、いつ・何があるかをカレンダーに書き込んでおきましょう。
- テスト範囲とテスト当日までの日数を考えて、その日に何を勉強するかも書き込んでおきましょう。
- スケジュールをもとに計画的に学習に取り組めたら、カレンダーにチェックを入れてみましょう。
- 「きたコン」を使って、テスト範囲の動画教材で復習してみましょう。



家庭学習を習慣化させるためのポイント

下に示した**4つのポイント**は、家庭学習の習慣を身に付けることはもとより、子どもの健やかな成長のためにも大切な基礎の部分です。中学生は、進路を控えており、そのことを視野に入れて学習の計画を立てて実行できるようにするなど、自主・自立の態度を養っていきましょう。



生活のリズムを整える

- 規則正しい生活リズムが日々の子どもの生活を整え、家庭学習の習慣化につながります。当たり前のことですが、早起き・早寝をする、朝食をきちんと食べる、テレビやゲーム、携帯電話、スマートフォンの時間を決めましょう。

努力を認め励ます

- 一つのことに継続して取り組む、やや難しいことに挑戦する、そして、あきらめずにやり抜くことを経験させましょう。
- 子どもの学習に目を向け、必要な声掛けや点検を行い、粘り強い努力を本気でほめましょう。

読書する時間をつくる

- 読書は、子どもの感性を磨き、知識や思考の源となります。まずは、毎日子どもが読書する時間を作りましょう。
- 地域の図書館に行き、本との出会いを作りましょう。

学ぶ雰囲気をつくる

- 家族で過ごす時間を大切にし、子どもの話を定期的に聞きましょう。
- ニュースなどを話題にして、社会への関心を広げましょう。

☆チェック☆

お子さんの生活をご存じですか。チェックしてみましょう。

- お子さんの夢や目標、あこがれを知っている。
- お子さんの交友関係を知っている。
- お子さんの担任の名前や組を知っている。
- お子さんの登校・下校の時刻を知っている。
- お子さんの部活動の大会や学校の発表会等に行ったことがある。
- 一週間に1回以上子どもをほめている。
- お子さんが今持っているお金の金額を知っている。
- 一日1回以上、お子さんと一緒に食事をとっている。
- お子さんと、自分の生き方や仕事について語ったことがある。
- お子さんの将来について話し合ったことがある。



刊行物登録番号 5-3-042